

平城西中学校区小中一貫教育だより 第1号

平城西中学校・右京小学校・神功小学校

令和2年10月12日

令和4年4月開校に向けて

～ 気持ち新たに 着実な前進を ～

9月に各校から配布させていただきました奈良市教育委員会事務局からの文書の通り、児童・生徒の学習環境と登下校等の安全を最優先し、新設校開校は1年延長して令和4年4月と決まりました。新小中一貫教育学校開校準備委員会において、開校に向けた協議を重ねていただいておりますが、それと並行して小中一貫実務者会を中心に、3校の教職員が小中一貫教育の実践と開校準備に日々取り組んでいます。

不定期の発行となりますが、このおたよりを通して、小中一貫教育の取組や新設校にかかわる情報等をお伝えして参りたいと思います。今後とも皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

タブレット端末の貸与が始まりました

GIGA スクール構想に基づいて、子どもたちに1人1台タブレット端末を貸与し、学校における高速大容量のネット環境を整備するという事業に、奈良市はいち早く着手し、実現に至りました。

各校でタブレット端末の貸与が行われ、学校での学習はもちろんのこと、ご家庭に児童生徒が持ち帰っての使用も始まっています。平城西中学校区では、各校のICT担当が中心となって情報交換を積極的に行い、研修を重ねています。互いに学び合い、より良い教育実践に結びつけるとともに、3校が一緒になった時、児童生徒が戸惑うことのないよう、足並みをそろえて進める必要があると考えています。



防災学習への取組 今年度も

平城西中学校区では小中一貫教育の柱の一つとして9年間を通した防災学習に、平成26年度から取り組んできました。北消防署の多大なご協力を得ながら行ってきた取組ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策に基づいての実施となるため、例年と同じ形で救急救命講習を受講することはできません。ですが、小学生を中心に内容を工夫しながら学習を進めていく予定です。



「自分の命を守る(自助)、家族や隣近所の方々を守る(共助)」という観点から、子どもたちが地域防災の担い手となってくれることを願って積み重ねてきた防災学習。今後も大切にしていきたいと考えています。

新設校建設工事が始まりました

小学校校舎と屋内運動場(体育館)新築を主とする1期工事が、今月初旬から平城西中学校と神功小学校で始まりました。この工事は令和3年8月頃までとなっています。さらに2期工事では、中学校校舎の改修等が行われ、令和4年2月末に完成の予定です。児童・生徒の安全確保に細心の注意を払って進めて参ります。詳細は平城西中学校のホームページでご確認ください。

新校舎の完成予想図と模型を展示します



新しい校舎の完成予想模型と完成予想図(パース)を、奈良市教育委員会事務局からお借りすることができました。10月12日(月)から16日(金)の期間は右京小学校で、以降1週間ずつ神功小学校、平城西中学校で展示されることとなります。各校へお立ち寄り際には、ぜひご覧になってください

新しい校舎をご紹介します その①

小学校昇降口と図書室はタマゴ型!

新設される小学校校舎で特に目を引く中央部分は、上から見ると卵のような形をしています。1階は小学生の昇降口。入ったところにエントランスホールが広がり、その奥には教室の約1.5倍の広さのプレイルームがあります。

プレイルームにはテラスもついていて、明るく開放的なスペースとなる予定です。遠足や修学旅行の出発式なども、この空間が使えるそうですね。

2階は「図書メディアスペース」として、小学生と中学生が一緒に利用する図書室となります。タマゴ型の2階フロア全ての空間を使いますので、かなりの広さです。小学生エリアと中学生エリアに分かれており、小学生エリアには読み聞かせのスペースも用意されています。中学生エリアにはICT機器の設置を想定した「ブラウジングコーナー」もあります。

小学生と中学生を、完全に分離した形での運用を考えているわけではありません。むしろ小学生が中学生向けの難しい本に挑戦してみたり、中学生が低学年の子どもたちに絵本の読み聞かせをしてあげたりといった、小中一貫校ならではの、自然な交流の場となることを期待しています。